

二学期制検証に係るアンケートのご協力ありがとうございました!

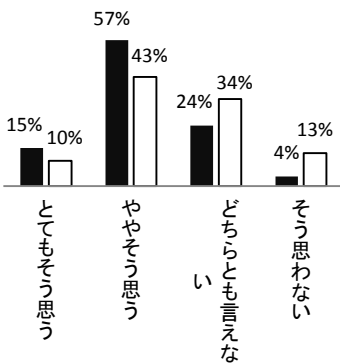
過日、学校より配布させて頂きました「二学期制検証に係るアンケート」へのご協力、大変ありがとうございました。町内小・中学校の2,036家庭の内、1,550家庭にご回答いただきました。

去る2月25日(木)に保護者代表、学校関係者、及び町内学校関係機関代表が集まり、保護者の皆様からの貴重なご意見を参考に二学期制検証委員会が開催され、これまでの二学期制の検証と今後の毛呂山町の教育について、話し合いが行われました。二学期制は平成19年度から始まり、平成28年度で10年が経過することになります。二学期制の重点とされてきた①学びの時間の確保 ②学校行事・体験的活動の充実 ③教育相談活動の充実の3点について一定の評価は得られましたが、昨今の学力向上の視点から考えると、児童生徒の学習の評価の在り方、通知票を配布する回数等について再検討せざるを得ない結果も明らかになりました。このアンケート結果を踏まえ、国の動向も注視し、二学期制で得られた成果を引き継ぎながら、毛呂山町の新たな教育活動の展開を検討していきたいと考えております。

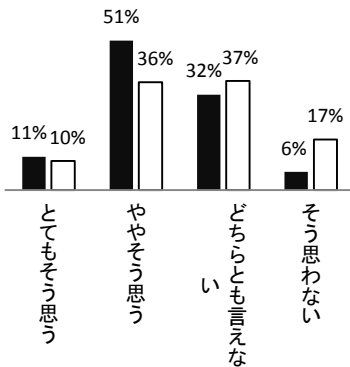
アンケート結果 (抜粋)

①学力向上について

お子さんに基礎学力が身についていると思いますか

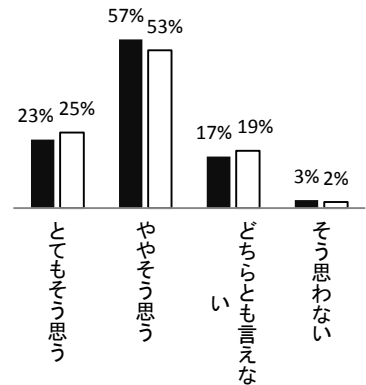


お子さんはじっくり学習に取り組んでいると思いますか



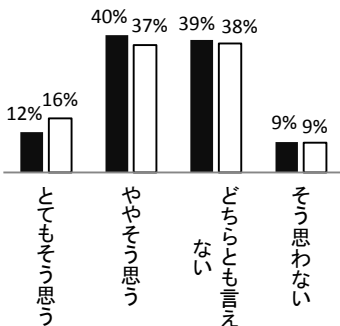
②学校行事・体験活動の充実について

学校行事や体験的な学習の取組が充実していると思いますか

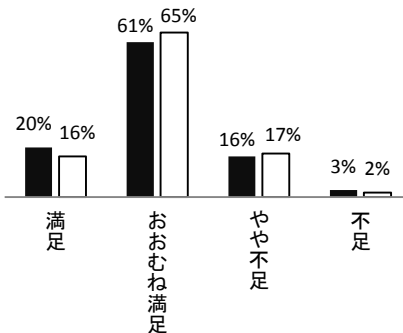


③教育相談活動の充実について

お子さんは先生と話をしたり相談する時間が充分とれていると思いますか

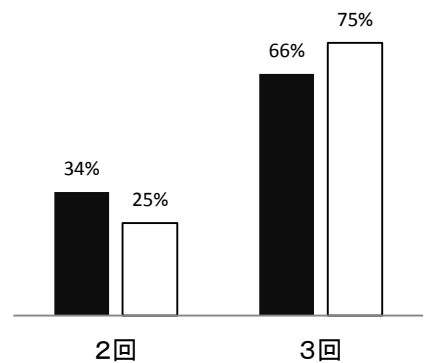


夏休みに取り組んでほしいこと9月以降の学習や生活で心がけてほしいこと等の情報は充分ですか



通知表の回数について

通知表の回数についてどちらが望ましいと考えますか



保護者の皆様からの意見（抜粋）

【二学期制に肯定的なご意見】

○二学期制、土日休みというのが根付いている気がするので、このままでいいと思います。また、4月から始まり、7月に評価が出る三学期制だと、たった3ヶ月で・・・という気もします。二学期制の方が、ゆとりというより、じっくり学習でき、授業時数も確保しやすいのではないかと思います。

○現在は、子供一人一人にあわせた丁寧な学習指導を受けております。また通知表が1回少ない分、長い休み前でも先生が子供達と関わる時間が確保できるため、充実した生活面の指導もありがたいです。通知表が1回少ない分は、夏休み中の個人面談で4月～7月の学習面、生活面の様子を先生の言葉でフォローできれば問題ないと思います。

○小学校入学時から二学期制だった為、このままで良いと思います。評価は3回あった方が良い気もしますが、二学期制の良い面を伸ばして続けて頂ければと思います。

【三学期制に肯定的なご意見】

○通知表をもらって学期を終えられた方が、節目もよく、親子で学力について話す機会が設けられると思います。小学校のうち、まだ自分の成績は気にしないと思いますが、今後中学校に行ってから、夏休み前等にしっかり自分の成績が出たほうが夏休みの学習に取り組み易いのかと思います。

○通知表は絶対に3回の方が良いです。夏休み前の復習を休み中に完全に、9月からの学習に備えたいのに、苦手な部分が親には全く分からず困ります。通知表が出れば、苦手科目を徹底的に学習できると思います。早く三学期制に戻してください。

○小学校では三学期制でも特に問題はないように思っていたのですが、中学校では定期テストの範囲が広がってしまったり通知表の回数が少ないので、前期で成績が振るわなかった場合、その学年では後期の1度しか挽回の機会がなく、三学期制の学校に比べて不利なように感じます。

【二学期制と三学期制の両方に肯定的なご意見】

○授業参観以外は、学校に訪れることが少ないため、二学期制であっても長期休みの前、もしくは2・3ヶ月に1回、子供の生活・勉強面で評価があると家庭でも把握する1つの材料になります。

○二学期制では、学期の前後に短縮授業が少ないので時間を有効活用できていると思う。でも、夏休み前に通知表が出た方が休み中に勉強する单元などをより詳しく知ることができると思います。

～二学期制検証委員会の報告～

二学期制の良い面を生かしながら、三学期制を実施していく方向で意見がまとまる

☆二学期制を実施してきたことで、学校行事・体験活動の充実については、保護者の理解が得られている。

☆教育相談活動の充実については、通知表の回数が少ない分、話し合いが充分に行われ、その評価は高い。夏休み前の家庭と学校間の面談など、先生とのやりとりを大切にしている意見がある。このような良い点も生かしたい。

☆「学力が身についたと思うか。」の設問に対して小学生保護者の評価が高い。「じっくり学習に取り組んでいると思うか。」の設問に対しては、小学生の保護者は約62%が肯定的な意見を持っている。中学生の保護者については、46%と半数を下回る結果である。中学校においては、もっと基礎的な学習の取組が必要なのではないかと。☆通知表については、3回の方が良いという意見が圧倒的である。評価することで子供の意欲は高まる。評価の大切さを保護者も理解している結果である。

☆保護者は通知表をコミュニケーションのツールと感じている。担任も子供の次の努力につなげられるよう方策を立てて欲しい。保護者の思いを納得させる方策が無いのであるなら、三学期制が妥当であろう。

☆二学期制は7月、12月に行事を入れられる良さもある。給食もぎりぎりまでである。食は心の安定につながる。給食の大切さを感じる。心が安定していると学習意欲も高まるはずである。三学期制になったとしても給食を食べて帰らせたい。